

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：都市計画課

シート No.：82-1

作成日：2025.5/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的 「地域公共交通網形成計画」の策定等により地方公共団体がまちづくりと連携して、持続可能な公共交通ネットワークを実現するための枠組みが整備されるなど、地域公共交通網の形成は大きな政策のひとつとして動き出しています。 市域を超えた、広域的な交通ネットワークを維持、形成していくために、近隣自治体や、茨城県、県外自治体等との連携を図っています。	事務事業の目標 コンパクトなまちづくりとあわせて人の移動を支える交通ネットワークの形成により、広域的な都市圏域全体としての生活関連機能サービスの向上を図ることは、住民が医療・福祉・商業等のサービスを身近に享受できるまちの形成につながるとなります。 このようなことから、今後の地域公共交通ネットワークの形成を図る上において、広域的な都市圏域としての持続可能性を高めていくことが必要となるとの「思い」を共有し、地域公共交通のネットワーク形成の広域連携を検討していきます。
	施策の目標	2 多様な交流を促す交通ネットワークを形成する		
	施策	2 交通機関の整備		
	施策内容	公共交通体系の充実 移動利便性の向上		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市地域公共交通計画		
事務事業名		公共交通政策の企画、調整及び推進		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
ローカル線でゆく人と川の 交流圏づくり推進協議会 （R 6・7・8）	常総線沿線（水海道駅以北）地域において、地域資源を活用した地域内のネットワーク化を推進し、地域の魅力向上と活性化を図るため、沿線ガイドブックを発行しました。	ガイドブック発行 （回）	1	1	150 千円	100 千円
			1	1		
地下鉄 8 号線建設促進 並びに誘致期成同盟会 （R 6・7・8）	東京 8 号線（有楽町線）の延伸（押上～野田市）の早期実現と野田市から茨城県西南部地域へのさらなる延伸誘致に向けて、国、都・県知事への要望活動を行いました。	要望回数（回）	5	5	32 千円	32 千円
			5	5		
茨城空港利用促進等 協議会 （R 6・7・8）	茨城空港の利用促進に向けた PR 活動を協議会として実施しました。	パンフレット発行 （回）	4	1	60 千円	60 千円
			4	1		
茨城県公共交通 活性化会議 （R 6・7・8）	県バス協会及び協賛したコミュニティバスにおいて、中学 3 年生（受験生）を対象にした、バスのお試し乗車券を発行しました。【エコ通学のススメ】	当市コミュニティバスでの 【エコ通学のススメ】利用 者数（人）	2	2	20 千円	20 千円
			0	2		
鉄道安全輸送設備整備 事業補助 （R 6・7・8）	関東鉄道常総線の軌道の改修工事に対して、「常総市鉄道安全輸送設備整備事業補助金交付要綱」に基づき、県、筑西市、下妻市と協調し補助金を交付しました。	補助対象工事の進捗 率（％）	100	100	3,964 千円	3,848 千円
			100	100		
常総線活性化 支援協議会 （R 6・7・8）	常総線活性化のための施策・イベントへの PR 協力、国の補助事業（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）を活用するための「生活交通確保維持改善計画等」の策定等に関する協議を行いました。	協議会開催回数 （回）	1	1	千円	千円
			2	1		
茨城県地域交通政策 推進協議会 （R 6・7・8）	複数市町村を運行する路線バス（地域間幹線系統）を運行する事業者が国の補助制度を活用するための確保維持計画の審議及び必要に応じた沿線自治体との協調補助（R6 は無し）を行っています。	茨城県バス運行対策費補助金に係る市町村負担金及び 嵩上げ補助金（円）	0	0	千円	千円
			0	0		
茨城県つくばエクスプレス 等整備利用促進協議会 （R 6・7・8）	県南西地域の振興に寄与することを目的に、TX の東京延伸に係る国、TX 議員連盟（本県選出）国会議員への要望を事務局（県）が行いました。	要望回数（回）	1	1	千円	千円
			1	1		
東北新幹線新駅 設置期成同盟会 （R 6・7・8）	東北新幹線茨城県新駅設置の早期実現を求める要望書を事務局（古河市）から JR 東日本大宮支社長へ提出しました。	要望回数（回）	1	1	千円	千円
			1	1		
公共交通網の広域連携 を図る検討会議 （R 6・7・8）	つくば市を中心とした近隣自治体の関係者と意見交換を行い、広域的な交通網の形成を検討しています。	市域を超えて交通ネットワークを形成した累計自治体数（自治体）	2	3	千円	千円
			2	3		

④ アウトカム（成果）

⑤ 点検・改善

指標名	目標値	R 6 実績値	業務の振り返り	改善の余地			
				☒ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
常総線利用者数	水海道駅：2,903 人/日 石下駅:851 人/日 （R 5）	水海道駅：2,973 人/日 石下駅：874 人/日	関東鉄道常総線の軌道の改修工事については、申請通りの工事が完了しました。 複数市町村を横断的に運行する路線バス（地域間幹線系統）は、国と県から補助を受け運行していますが、一定水準未満の運行実績の場合、県補助分の半分を沿線自治体で負担する必要があります。 当市を運行する地域間幹線系統の路線バスは 1 路線ありますが、今年度の運行実績は水準を満たしており、沿線自治体の負担はありませんでした。	今後の方向性			
茨城県バス運行対策費補助金に係る市町村負担金及び嵩上げ補助金	0 円	0 円		市域を超えて運行する路線バスや鉄道については、運行実績が好転することで、協調補助が不要となることから、引き続き沿線自治体と連携しながら利用促進策を講じていき、地域の公共交通サービスの維持を図っていきたいと考えております。			